

ロベール・ドアノー写真展 「Les Leicas de Doisneau」



ピエレット・ドリオン、パリ、1953年



ポー・ド・プロヴァンスのサビーヌ・アゼマ、1991年

©Atelier Robert Doisneau/Contact

展覧会概要：

2016.2.6 (Sat.) -2016.5.15 (Sun.) 11:00-19:00

ライカギャラリー京都 **Leica Gallery Kyoto**

ライカ京都店 2F/

京都府京都市東山区祇園町南側 570-120

tel.075-532-0320

*ライカギャラリー京都では、日本国内未発表作品を含む 1970年代から晩年までのライカによる作品を展示します。

2016.2.19 (Fri.) -2016.5.15 (Sun.) 11:00-19:00

ライカギャラリー東京 **Leica Gallery Tokyo**

ライカ銀座店 2F/

東京都中央区銀座 6-4-1

tel.03-6215-7070

*ライカギャラリー東京では、集中的にライカで撮影していた 1950年代の作品を展示します。

月曜日定休 Closed on Mondays

入場無料 Admission free

協力 エールフランス

*写真左「ピエレット・ドリオン、パリ、1953年」はライカギャラリー東京、写真右「ポー・ド・プロヴァンスのサビーヌ・アゼマ、1991年」はライカギャラリー京都での展示となります。

開催趣旨：

“イメージの釣り人”とも評されるフランスの国民的写真家ロベール・ドアノー。その類まれな洞察力と遊び心に満ちた感覚で、日常に潜むドラマをとらえ続けた作品は、時代や国境を越え多くの人々に愛され続けています。ドアノーの人間に対する飽くなき好奇心と愛情に溢れた眼差しは、見過ごされがちな“額縁のない景色”の中にこそ存在する人生の本質を見事に浮彫りにしています。1914年、当時の写真界に文字通り革命を起こしたライカの35mm小型カメラが開発されてから1世紀。ライカは、名だたる写真家たちの愛機として写真史に残る多くの名作を生み出してきました。機動性の高いライカの出現は、ロベール・ドアノーの作品にも大きな影響を及ぼしました。

東京、京都にあるライカギャラリーでの、ほぼ同時期の開催となるロベール・ドアノー写真展「Les Leicas de Doisneau」では、ドアノーが集中的にライカで撮影していた時期を大きく2つに分け、東京展では1950年代、京都展では1970年代から晩年にとらえた作品を展示します。

CONTACT

ロベール・ドアノー プロフィール:

1912年、パリ郊外ヴァル・ド・マルヌ県ジャンティイ生まれ。石版工の技術取得のためパリのエコール・エスティエンヌで学んだ後、写真家アンドレ・ヴィニョーの助手となる。1934年、ルノー社に産業カメラマンとして入社。1939年、フリーとして活動を開始。

パリを中心に庶民の日常をとらえた写真で高い評価を得、現在でも世界中で愛され続けている。

1951年には、ニューヨーク近代美術館で開催された《5人のフランス人写真家》展の出品作家に選ばれる。1992年、オックスフォード近代美術館で大回顧展を開催。1994年没(享年82歳)。ニエプス賞(1956年)、フランス写真大賞(1983年)など受賞多数。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社 コンタクト 担当：佐藤正子

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-59-8-503

TEL : 03-3405-5081 FAX : 03-3405-5082

E-Mail info.contact.tokyo@gmail.com URL <http://www.contact-tokyo.com>

アトリエ・ロベール・ドアノー HP (フランス語、英語)

The website of Atelier Robert Doisneau (French, English)

<http://www.robert-doisneau.com>

コンタクトでは、2013年の創立以来、写真展を中心とした、展覧会の企画制作をさせていただいております。また、フランスの写真家ロベール・ドアノーの作品を管理する、アトリエ・ロベール・ドアノーと、日本・韓国での著作権代理業務について独占契約を締結し、さまざまなメディアにドアノー作品を提供しております。